

令和 2 年度使用

小学校用教科用図書研究資料

保 健

宮崎県教育委員会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明記してあるほか、小単元毎に学習の進め方や学習の課題が明示され、「気づく・見つける（課題把握）」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「資料」や「D マーク（動画やシュミレーション）」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>
4 大日本	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明記してあるほか、小単元毎に学習の課題が明示され、「課題把握」「やってみる・話し合う・調べる」「活用して深める」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「もっと知りたい」や「たのしい保健ウェブ（動画や資料）」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>
207 文教社	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明記してあるほか、小単元毎に学習の課題が明示され、「課題把握」「ふり返る・調べる・話し合う・考える・やってみる」「新しい自分にレベルアップ」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「情報コーナー」や「ホームページにアクセス(web サイト)」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>

208 光文	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明記してあるほか、小単元毎に学習の課題が明示され、「はじめに（ふり返り）」「課題把握」「調べる・考える・やってみる・話し合う」「生活に生かす・伝える」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「さらに広げよう深めよう」や「動画や web サイト」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>
224 学研	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明記してあるほか、小単元毎に「ここで学ぶこと（学習の課題）」が明示され、「つかむ（課題把握）」「考える・調べる」「まとめる・深める」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「もっと知りたい・調べたい」や「教科書サイト」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 「知識」を習得するために、一単位時間や各章のまとめの中で、学習した内容を振り返り記述したり確かめたりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) けがなどの簡単な手当てができる「技能」を習得するために、けがの手当ての方法や理由を自ら考え、イラストや動画で確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「気づく・見つける」において、ページ全面を使った資料で生活経験を振り返り、気付いたことや見つけたことを記述する場面、「深める・伝える」において、自分の考えを整理するための視点に沿って記述し、説明する場면을位置付け、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 「知識」を習得するために、課題をつかむ段階で統計資料を取り入れ、学習した内容を身近な問題としてとらえることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) けがなどの簡単な手当てができる「技能」を習得するために、けがの手当ての仕方をイラストや動画で確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「話し合ってみよう」において、いくつかの統計資料やイラストなどから見つけた課題や解決策について話し合う場面、「活用して深めよう」において、学習したことを日常生活に生かすための考えを記述し、説明する場면을位置付け、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>
207 文教社	<p>(1) 「知識」を習得するために、各ページにある豆知識や児童へのメッセージを載せた「つぶやきくん」を活用し、学習した内容の補足等ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) けがなどの簡単な手当てができる「技能」を習得するために、けがの手当ての仕方をイラストや会話形式で確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「ふり返ってみよう・調べてみよう」において、生活経験や資料から課題を見つける場面、「話し合ってみよう」において、イラストなどで課題解決に向けた選択肢が示され、そのことを基に調べたことや考えたことについて話し合う場면을位置付け、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>

208 光文	<p>(1) 「知識」を習得するために、各ページの終わりにまとめの簡潔な文章があり、一単位時間に学習した内容を短い文章で振り返ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) けがなどの簡単な手当てができる「技能」を習得するために、けがの手当ての仕方をイラストや動画で確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「はじめに・調べよう」において、生活経験や資料から課題を見つける場面、「話し合おう・考えよう」において、考えをまとめやすいように豊富なイラストが示され、そのことを基に調べたことなどを記述し、話し合う場面を位置付け、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>
224 学研	<p>(1) 「知識」を習得するために、一単位時間や各章の終わりの中で、学習した内容を振り返ったり新たな課題を解決する方法を考えたりできるような工夫が見られる。</p> <p>(2) けがなどの簡単な手当てができる「技能」を習得するために、けがの手当ての仕方のポイントが朱書きされ、イラストや動画で確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「つかむ・ふり返る」において、生活経験や資料から課題を見つける場面、「考える・調べる」において、イラストによる説明や吹き出しなどが示され、そのことを基に調べたことや課題を解決するための方法を話し合う場面を位置付け、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 一単位時間4ページの構成になっているため写真や記述欄が大きく掲載され、主体的に思考しやすい作りになっている。</p> <p>(2) 特筆すべき点として、導入では写真を基にして本時の課題を見つける活動を設定することで、児童が本時の課題を自ら見つけることができるような工夫がなされている。</p>
4 大日本	<p>(1) イラストを活用し思考の流れが矢印で表されているなど、段階的に思考しやすい作りになっている。</p> <p>(2) 特筆すべき点として、導入では学習内容につながるゲーム的な活動を設定することで、児童が自分の身近な問題として課題意識をもつことができるような工夫がなされている。</p>
207 文教社	<p>(1) 自分の生活をチェックなどで振り返ったうえで本時の活動に取り組むことで、課題意識をもちやすい作りになっている。</p> <p>(2) 特筆すべき点として、学習の終盤では学んだことを「宣言」する活動を設定することで、児童が日常生活でも実践しようとする思いをもつことができるような工夫がなされている。</p>
208 光文	<p>(1) 各章の導入で学習内容にかかわる4コマ漫画を掲載していることで、これからの学習内容を把握しやすい作りになっている。</p> <p>(2) 特筆すべき点として、学習の終盤では発展的な資料を豊富に掲載することで、児童が自分の興味・関心に応じてさらに学習を深めることができるような工夫がなされている。</p>
224 学研	<p>(1) 系統性や学習内容の関連を、見やすい位置に明記していることで、学習のつながりを感じやすい作りになっている。</p> <p>(2) 特筆すべき点として、学習の中盤・終盤では科学的な資料や実験結果を掲載することで、児童が学んだことなどを実際に視覚的・科学的に捉えることができるような工夫がなされている。</p>

【データの観点】

種目 保 健

※ 表内の数値は、保健で設定した内容項目により全発行者について調査したものであり、数値の大小を表面的にとらえるのではなく、具体的な内容と合わせて各発行者の特徴をとらえる参考とすること。

		発行者		2 東書		4 大日本		207 文教社		208 光文		224 学研	
視 点													
共 通	① 総ページ			126	45	94	37	86	33	106	41	94	37
					81		57		53		65		57
	② 重さ	合本 (グラム)		400		266		358		316		344	
別冊 (グラム)		/		/		/		/		/			
③ サイズ	縦 (cm) × 横 (cm)		29.7×21		25.7×21		29.7×21		29.7×21		29.7×21		
種 目 別	④ 単元 (題材) 数		22		24		24		24		23		
	⑤ 1 ページの標準文字数		33.7		29.5		31.2		35.9		26.1		
	⑥ 言語活動 の充実を意 図した箇所	ページ数		67		44		48		72		59	
		ページ割合 (%)		53.1		46.8		55.8		67.9		62.7	
	⑦ 資料等の 数	写真		188		100		122		147		158	
絵・図表		613		483		712		749		597			
文章資料		70		55		64		80		68			

※①総ページ数は、口絵を含めない全体のページ数、右側上段は3・4年生用教科書のページ数、右側下段は5・6年生用教科書のページ数を示している。

※⑤1ページの標準文字数は、毎日の生活と健康に関する内容の総文字数 (本文のみ) ÷ ページ数